「成果情報名] 二季咲きラベンダーの有望系統「長崎 Lav3」

[要約] 二季咲きラベンダー有望系統「長崎 Lav 3」は、「リトルマミー」よりガク(蕾)及び小花の色が濃い。促成栽培の開花はやや早く、開花後切り戻すとその後の開花は早く、8月下旬の切り戻しにより11月開花が可能である。

「キーワード ラベンダー、リトルマミー、花色、促成栽培、切り戻し

[担当]長崎県農林技術開発センター・農産園芸研究部門・花き・生物工学研究室

[連絡先] (代表) 0957-26-3330

[区分]花き

[分類]指導

[作成年度]2017 年度

[背景・ねらい]

本県オリジナルの鉢物・苗物として、耐暑性、春秋の二季咲き性を有するラベンダー「城南1号」が 2009 年に商品化され、2014 年には「リトルマミー」を商品化している。しかし、「城南1号」、「リトルマミー」はガク(蕾)の色はやや薄く、秋季の出荷も9月までであった。

そこで、「城南1号」、「リトルマミー」よりガク及び小花の色が濃く、秋季は10月以降も出荷できる有望系統を選抜し、その開花特性を明らかにする。

[成果の内容・特徴]

- 1. 二季咲きラベンダー有望系統「長崎 Lav 3」は、2013 年4月に播種した購入種子の実生から選抜した系統である。
- 2. ガク(蕾)の色は青紫で「リトルマミー」より濃く、小花の花冠の色は青紫(RHS カラーチャート VIOLET BLUE GROUP 96-C)で「リトルマミー」より青みが強い(写真 1)。
- 3. 無加温栽培での開花は、「リトルマミー」より3日~5日遅い。
- 4. 促成栽培では2月 10 日加温・長日処理開始により、5月上旬に開花し、「リトルマミー」と比較すると2日~8日早い(表2)。
- 5. 加温促成栽培開花株 (2月 10 日温開始) を 5 月 30 日に花穂下 2 対葉から切り戻すと 開花日は 7 月 23 日で「リトルマミー」より 17 日早い (表 3)。
- 6.8月25日に開花株を同様に再度切り戻すと、「リトルマミー」は年内に開花しないが、 「長崎 Lav 3」は11月に56%の枝で開花する(表4)。

[成果の活用面・留意点]

- 1. 小花の開花始め日を開花日とした。実際の苗物、鉢物としての出荷時期は開花前のガクの着色時期であるため、促成栽培では2月10日加温・長日処理開始で4月中旬からの出荷が可能である。また、8月下旬切り戻しで10月出荷が可能である(参考図1)。
- 2. 「長崎 Lav 3」は枝が伸びやすい傾向があるため、わい化剤を枝伸長初期、及び発蕾 時期に散布する。

[具体的データ]

表1 無加温栽培における開花特性

	X : ///////////////////////////////////				
	年度	系統•品種	開花日	開花枝率 / 株	
			月・日	%	
	2016年	長崎Lav3	$5/22 \pm 6.0^{z}$	100	
	2010-	リトルマミー	$5/19 \pm 1.4$	100	
	2017年	長崎Lav3	6/5±0	100	
	2017-	リトルマミー	$5/30\pm0$	100	

耕種概要: (2016年) 挿し芽・2014年6月13日、鉢上げ7月11日3号ポット、 2015年2月11日4号ポット、無加温ハウス内栽培

> (2017年)挿し芽・2016年8月19日、鉢上げ9月19日3号ポット 加温2月10日より(13℃)。加温開始時期より夜間電照(同)

z: ±標準偏差





写真1 左「長崎 Lav3」、右「リトルマミー」 (撮影 2015年5月)

表2 加温促成栽培における開花特性

年度	系統•品種	開花日	加温開始 から開花	株高	開花枝数 /株	開花枝率 /株
一人		(月•日)	までの日 数(日)	(cm)	(本)	(%)
2016年	長崎Lav3	$5/2\pm0.8^{z}$	82	18.4	10.6	100
2010	リトルマミー	$5/10\pm0.9$	90	22.4	17.4	100
2017年	長崎Lav3	$5/6 \pm 1.7$	86	29.8	10.8	96
2017 +	リトルマミー	$5/8 \pm 2.2$	88	42.8	11.8	100

耕種概要:(2016年)挿し芽・2015年6月3日、鉢上げ7月10日3号ポット、2016年2月10日4号ポット。

加温2月10日より(13°C)。ワイ化剤3回散布。

加温開始時より発蕾時まで夜間電照(白熱灯)5時間(22:00~3:00)

(2017年)挿し芽・2016年8月19日、鉢上げ9月19日3号ポット

加温2月10日より(13℃)。加温開始時期より夜間電照(同)

z: ±標準偏差

表2 加温促成栽培 開花後切り戻しにおける開花特性

系統•品種	開花日	株高	開花枝数 /株	伸長枝数 /株	開花枝率 /株
	(月•日)	(cm)	(本)	(本)	(%)
長崎Lav3	$7/23\pm1.4^{z}$	37.5	15.8	17.6	89.8
リトルマミー	$8/9 \pm 2.5$	38.3	8.3	22.3	37.2

耕種概要: 加温促成栽培による開花後、2017年5月30日切り戻し。 2017年6月12日4号ポット鉢上げ。

切り戻し後発蕾時まで夜間電照(白熱灯)5時間(22:00~3:00)

表3 7~8 月開花切り戻し後の秋季の開花特性

系統•品種		発蕾枝数 /株	伸長枝数 /株	開花·発蕾 枝率/株
	(本)	(本)	(本)	(%)
長崎Lav3	14.8	0	26.5	55.8
リトルマミー	0.5	0	25.3	2.0

耕種概要:2017年5月30日切り戻し、6月12日4号ポット鉢上げ。8月25日切り戻し。 切り戻し後発蓋時まで夜間電照(白熱灯)5時間(22:00~3:00)

(2017年11月27日調査)



【参考】 図1 長崎「Lav3」と「リトルマミー」の出荷可能時期

「その他]

z:±標準偏差

研究課題名:ながさきオリジナル新品種開発推進事業

予算区分:県単

研究期間:2015~2017年度、研究担当者:諸岡淳司、竹邊丞市、岳田 司